

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科			
科目名称		からだと栄養Ⅱ				授業形態		講義			
科目コード		307700	単位数		2単位	配当学年		1	実務経験教員		○
担当教員名		川北 久美子							ICT活用		○
授業概要		<p>からだと栄養Ⅰやからだと疾病Ⅰで学んだ知識をもとに五大栄養素の消化吸収について学ぶ。また個体維持のためにヒトに備わっている摂食行動について学ぶ。消化・吸収については、関連するホルモンや消化酵素、それぞれの分泌細胞や作用機序、吸収機構を理解し、小腸から吸収されてからの栄養素の各組織への運搬・利用・貯蔵などの機構についても理解を深める。また消化管と免疫の関わりや免疫と栄養についてもふれる。</p>									
関連する科目		<p>同時期にからだと疾病Ⅱを受講することが望ましい。履修後は生化学、臨床医学を受講し理解を深めることが望ましい。</p>									
授業の進め方と方法		<p>書きこみ式のプリント教材を配布する。教科書や配布プリント教材で事前に自学自習を行う。授業でわからなかった点は、教員に質問し、質疑応答しながら完成させ、理解を深める。次回復習テストまでに知識を整理する。復習テスト後は教員から解答を全員に提示し、ポイントの補足説明などを行う。各自疑問点などを確認する。また項目ごとに関連する国家試験問題を提示し、授業内容とリンクさせ、学んだことがどのように出題されるかを説明する。</p>									
授業計画【第1回】		<p>栄養素代謝の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糖質、脂質、タンパク質代謝の概要を学ぶ。</li> </ul>									
授業計画【第2回】		<p>食物摂取と消化器系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消化・吸収の意義と消化器系の各部位の役割について学ぶ。</li> </ul>									
授業計画【第3回】		<p>消化の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消化の調節機構と栄養素別の消化過程の概要を学ぶ。</li> </ul>									
授業計画【第4回】		<p>吸収の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吸収の調節機構と栄養素別の吸収過程の概要を学ぶ。</li> </ul>									
授業計画【第5回】		<p>タンパク質の消化吸収①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タンパク質の管腔内消化とその調節について学ぶ。</li> </ul>									
授業計画【第6回】		<p>タンパク質の消化吸収②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タンパク質の吸収について学ぶ。</li> </ul>									
授業計画【第7回】		<p>糖質の消化吸収①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糖質の管腔内消化とその調節について学ぶ。</li> </ul>									
授業計画【第8回】		<p>糖質の消化吸収②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糖質の吸収について学ぶ。</li> </ul>									
授業計画【第9回】		<p>脂質の消化吸収①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脂質の管腔内消化とその調節について学ぶ。</li> </ul>									
授業計画【第10回】		<p>脂質の消化吸収②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脂質の吸収について学ぶ。</li> </ul>									

授業計画 【第11回】	ビタミンの吸収 ・脂溶性ビタミンと水溶性ビタミンの吸収について学ぶ。
授業計画 【第12回】	ミネラルの吸収 ・主にカルシウムと鉄の吸収などについて学ぶ。
授業計画 【第13回】	栄養素の体内動態 ・消化吸収後の体内動態を学ぶ。
授業計画 【第14回】	摂食行動① ・摂食の調節について学ぶ。
授業計画 【第15回】	摂食行動② ・栄養と免疫について、消化管と免疫の関わりや免疫に対する栄養素の作用について学ぶ。
授業の到達目標	1. 栄養素の消化・吸収機構を理解して、体内における役割を理解する。【知識、理解の育成】 2. 体内リズムの重要性や免疫に対する栄養素の作用について理解し、よりよい食、生活習慣を考えることができる。【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	次回授業内容について教科書や配布プリント教材を読んで内容を把握しておくこと。予習課題を事前に与えるので、各自Formにアクセスして回答すること。(約1時間)
授業時間外学習【復習】	授業で習った内容について必ず教科書を読み返すこと。ユニバ上にプリント教材の解答を随時アップロードするので、書き漏らしや書き間違いを必ず追加訂正しておくこと。 ほぼ毎回授業の最初に前回授業内容にかかる復習テストをするので復習しておくこと。(約1時間)
課題に対する フィードバック	復習テストについてはチェック後返却する。 定期試験は試験前後に必要な事項の解説および質疑応答をする。試験に対する質問には個別でも対応する。
評価方法・基準	復習テスト(10点) 定期試験(90点)
テキスト	生化学・基礎栄養学 第3版 池田彩子他 編著(朝倉書店) 栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第4版 田地陽一 編 (羊土社)
参考書	栄養士・管理栄養士のためのなぜ? どうして? 人体の構造と機能、基礎栄養学 (MEDIC MEDIA) 栄養学の基本 人体の理解と栄養学の基礎 南久則 編 (医歯薬出版株式会社) 必要に応じて資料を配布する。
備考	